

進路だより

令和3年5月28日 恵那特別支援学校 進路支援部 No.1

作業学習

中学部・高等部になると、「作業学習」が始まります。作業学習とは、『作業活動を学習活動の中心にしながら、児童生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するもの（特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編より）』です。今回はそれぞれの学部の作業班について紹介します。

中学部・作業学習の紹介

クラフト班

クラフト班では、布に針と糸で模様を縫っていく『刺し子』と布に型を置いて上から絵の具をトントンと入れていく『ステンシル』という作業をしています。

どちらも根気よく、丁寧に作業をしないと製品に仕上げることができません。

「どうやったらきれいに目が揃えられるだろう？」

「絵の具がはみ出さないためにはどうすればいいだろう？」と考えながら作業をしています。

全体では「丁寧な言葉遣いをしよう」「きれいな製品を作ろう」を合言葉に頑張っています。



陶芸班

陶芸班では、薄く伸ばした粘土の板を丸く切り抜いてお皿づくりをしています。

『こて』という木の板を使って粘土の中の空気を抜くように、優しく丁寧に締めていきます。そして、表面にしわが入らないように一回一回確認しながら仕上げていきます。

メンバーは1年生が多いですが、先輩の姿をお手本にして、言葉遣いや身だしなみに気を付けながら作業をしています。

使う人が笑顔になってくれるような素敵なお皿づくりを頑張っています。



紙工班

紙工班では、給食の牛乳パックを材料にして紙製品を製作しています。

紙製品を作るには、いくつかの工程があります。どの工程が欠けても、製品は完成しません。一人一人が頑張って作業をしないと、一つの製品が出来上がらない班です。

できないこと、分からないことはそのままにせず、「分かりません」と伝えることや、自分の仕事に責任をもって取り組むことを心掛けています。

素朴な紙の風合いを活かした製品を楽しんでもらいたいです。



高等部・作業学習の紹介

窯業班

お皿やろくろ成型のお茶碗など様々な製品を作っています。粘土の切り方、力の入れ具合等、一つずつ丁寧にやっていきます。成型、素焼き、施釉、本焼きと、出来上がるまでに時間を要するのが特徴です。



木工班

カッティングボードや木べらなど、様々な製品を作っています。今年度も、木工の専門的な知識、技術を身に付け、生徒がアイデアを出し合い、新製品をつくる予定です。



縫製班

布マスクやトートバッグなどミシンを使って布製品を作っています。布に合う糸やボタンを選び、一つ一つ丁寧に製品を作っています。



工芸班

はた織りで織った布をミシンで縫ってバッグにしたりポーチにしたりして、一つ一つ丁寧に製品を作っています。



クリーンサービス班

「働く人」を目標に清掃と喫茶サービスの学習をしています。清掃、喫茶サービスを通して社会人になるためのマナーや作業効率を考えて生徒が主体的に作業できるように学んでいます。



軽作業班

外部から委託された「土入れ」や「ラベル」の仕事に分かれて作業をしています。委託作業では、ミスを出さないように、手元をよく見て、作業に取り組んでいます。



ホームページ上で進路だより、進路状況を掲載しています。

ぜひご覧ください。

URL <http://school.gifu-net.ed.jp/ena-sns/>

学校HP QRコード →
スマホの読み取りカメラから
アクセスできます。

